

2017年3月期 第1四半期連結決算報告 (2016年4月1日～2016年6月30日)

- 2017年3月期第1四半期の営業利益は前年同期を大きく上回る
- キャッシュ・フローは、利益の増加により改善
- 事業改善・財務改善のための施策は順調に進捗
- 2017年3月期の通期業績見通しは変更なし

2017年3月期第1四半期の営業利益は前年同期を大きく上回る

- グループ売上は1,505億円で、円高の影響により前年同期から減少（前年同期1,621億円）
- 無形資産償却前営業利益は、欧州市場の改善やエネルギーコストの減少及びVA化の進展によって大きく改善し、89億円（前年同期52億円）
- 建築用ガラス事業は、売上599億円（前年同期647億円）、無形資産償却前営業利益65億円（前年同期33億円）
- 自動車用ガラス事業は、売上785億円（前年同期831億円）、無形資産償却前営業利益37億円（前年同期26億円）
- 高機能ガラス事業は、売上120億円（前年同期142億円）、無形資産償却前営業利益1億円（前年同期2億円）
- 英国のEU離脱に関する国民投票（6/23）後の為替変動により資本勘定が縮小。営業損益への影響は軽微であり、今後の事業への影響は短期的には軽微と見込む

キャッシュ・フローは、利益の増加により改善

- 営業キャッシュ・フローは改善
- 運転資本の季節変動によるマイナスの影響を受ける一方、フリー・キャッシュ・フローは17億円のマイナスまで改善（前年同期203億円のマイナス）
- ネット借入は69億円減少

事業改善・財務改善のための施策は順調に進捗

- 中国の型板ガラス事業からの撤退、ベトナムの薄板ガラス用フロート窯の一時休止等、損益改善施策を実行
- 欧州における型板ガラス製造拠点の再編を実施
- 日本とマレーシアにおける土地の譲渡とリースバック取引の実行により、個別開示項目で77億円の利益を計上
- リファイナンスの協議は順調に進捗、7月社債償還も予定通り完了

2017年3月期の通期業績見通しは変更なし

- 営業利益は今後も改善を見込む
- 現地通貨ベースでの業績改善が、円高による業績へのマイナス影響を相殺する見通し
- 中期経営計画(MTP)の進捗に関する評価・目標達成のための方策検討を行い、2017年3月期第2四半期決算発表時に、結果を報告予定

連結損益計算書



(億円)	17年3月期 4月-6月期	16年3月期 4月-6月期	前年比
売上高	1,505	1,621	-7% ¹
無形資産償却前営業利益	89	52	71% ²
償却費 ³	(18)	(21)	
営業利益	71	31	
個別開示項目	78	(6)	
金融費用(純額)	(42)	(42)	
持分法による投資損益	0	(1)	
税引前利益/(損失)	107	(18)	
当期利益/(損失)	44	(5)	
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	39	(14)	
EBITDA	162	137	18%

1 ビルギンソン買収に伴って発生した無形資産の償却

2 為替変動を除くと4.5%増

3 為替変動を除くと97%の増

円高による影響を受けるも、無形資産償却前営業利益は着実に改善

2016年7月29日 | 2017年3月期第1四半期決算報告